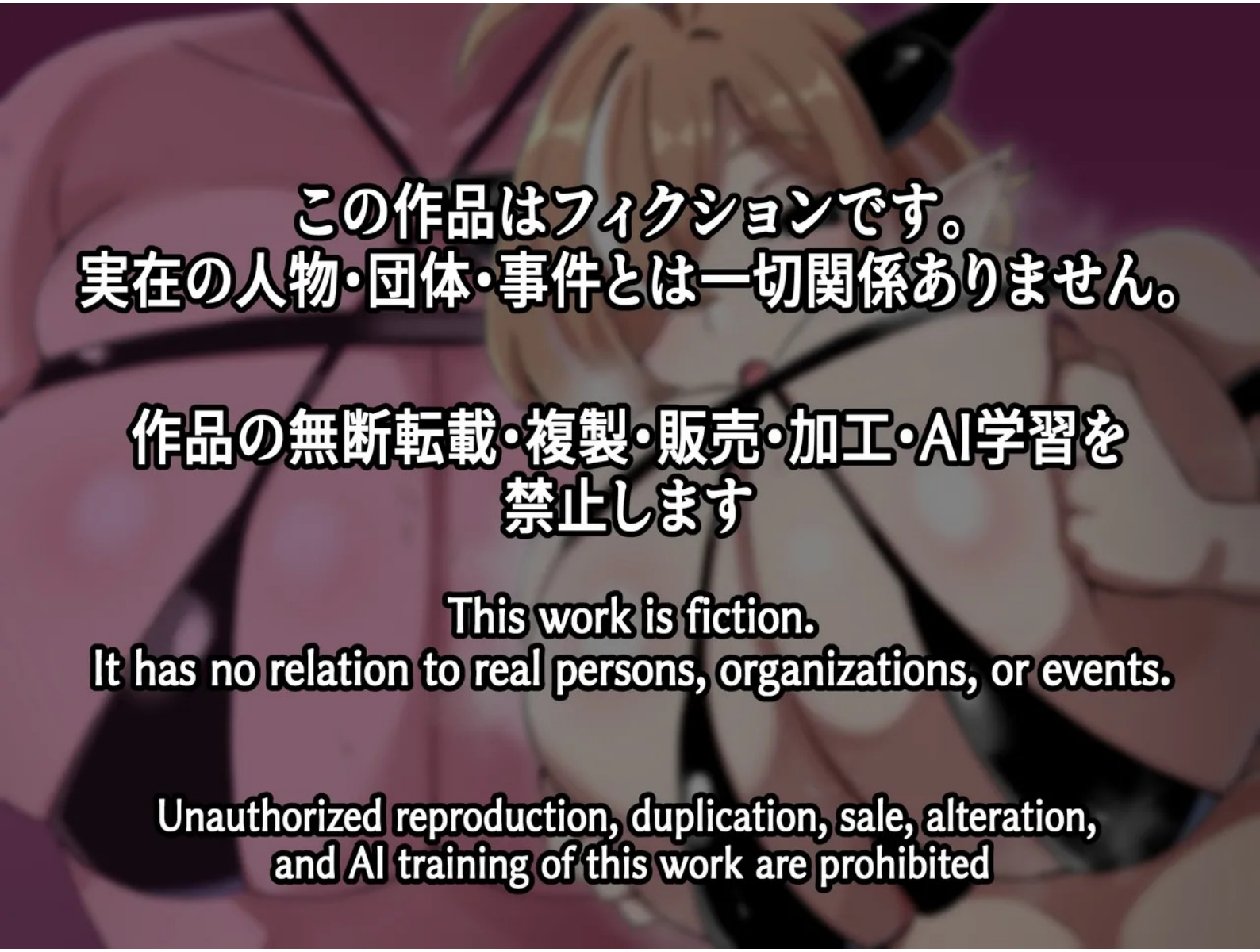
あ……射精た……♥
ぎゅ〜
ぴゅっぴゅっぴゅ
ぴゅっ
ぴゅっ
ぴゅっ


この作品はフィクションです。
実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。
作品の無断転載・複製・販売・加工・AI学習を
禁止します
This work is fiction.
It has no relation to real persons, organizations, or events.
Unauthorized reproduction, duplication, sale, alteration,
and AI training of this work are prohibited

ボクは今
走馬灯を見ていた

まだ子供だった頃の
記憶を見ていた・・・・

その時のボクは
ひどい子供だった
・・・・

誰かを
魔法を使って
いじめていた
・・・・

目の前の子は
泣きながら
逃げている

園子は泣きながら
なんどもボクに
止めるよう訴えている

だけどその子の
顔がぼやけてて
はっきり思い出せない

何故こんな後味の悪い
過去の記憶を見ているのか
それは・・・・

パイズリ拷問をうけているからだ

ずちゅ
ぱちゅ
ぱちゅ
ずちゅ
ずぽっ
ずぽっ
ずぽっ
ずぽっ
パイズリ〜〜〜

わぁ♥

ぶびゅっ
ぶびゅっ
びゅるっ

イグ〜ッ
イクッ
うっ…っ
とまらない…っ

どびゅっ
びゅるっ
ぶびゅっ

わぁ・・・・
凄い量だね・・・・♥
抵抗してたけど
お、おちんちんは
射精したがって
たもんね・・・・♥

じゅぷっ
じゅぷっ
じゅぷっ

ボクはこのサキュバスに
おっぱいで・・・・パイズリで
搾精拷問を受けている

なぜこんなことに
なってしまったのか・・・・
それは少し前に遡る

僕は名家の魔術師家系の生まれだ

幼い頃から同世代の魔法使いよりも魔力が高く

おー！

魔術の技術も群を抜いて高かった・・・・

ボクの住む世界は魔王軍による侵略が始まっていた

ゴオオオ・・・・

その魔王を討伐するための勇者パーティーに魔術師としてボクは指名を受け加入した

勇者をはじめ精鋭揃いのパーティーだった

魔王を討伐し偉大なる魔術師として歴史に名を残す・・・・

ボクはその時そう思っていた・・・・

だけど現実は非情だった・・・・

オオ

オオ

オオ

オオ

勇者パーティーはたった1人の魔物・・・・サキュバスに全滅させられた・・・・

勇者・・・・

僧侶!! 賢者・・・!!

う・・・・うそだ・・・・っ

みんな・・・・やられちゃうなんて・・・・

こ・・・・っ殺される・・・・!!

・・・・

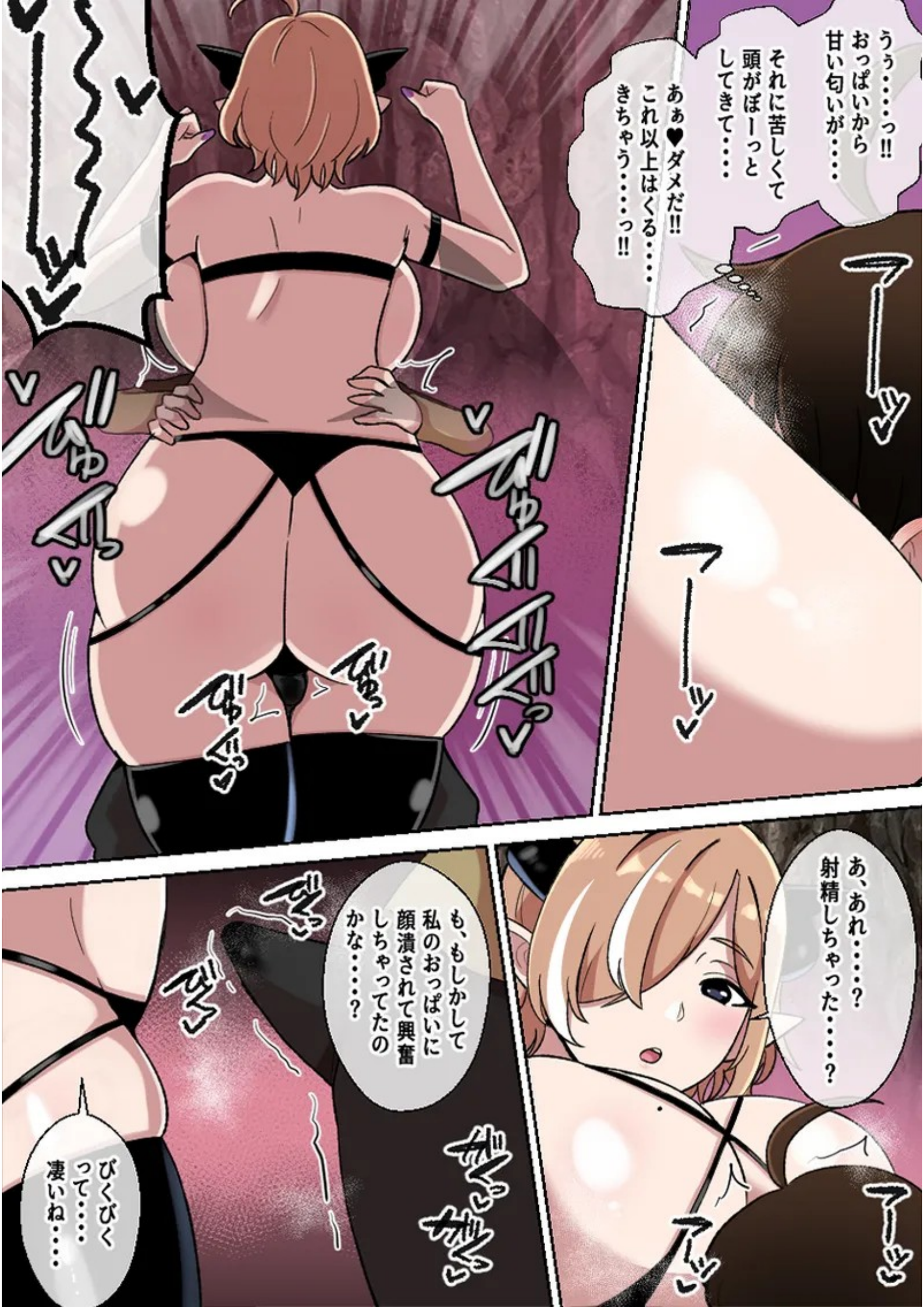
君は・・・・・・

わ、私のところにつれていくから・・・

えっ!?

奴は何故かボクだけを自分の住処へと連れ帰った

んぐるっ
きゅ～
～っ
て・・・・抵抗しようとしないで・・・・
暴れると余計苦しくなるから・・・・
きゅっ
きゅ～～っ
ばんっ
ばんっ
お、大人しくしたほうがいいよ・・・・？
ガク
ガク
きゅ
っ
ぐんっ
ぐんっ
痛いことはしないから・・・・
っ
そんなに暴れないで・・・・


うぅ・・・・っ!!
おっぱいから
甘い匂いが・・・・
それに苦しくて
頭がぼーっと
してきて・・・・
あぁ♥ダメだ!!
これ以上はくる・・・・
きちゃう・・・・っ!!
ぐぷっ
ぐぷっ
ぐぷっ

ぐぁ・・・・っ

ぐっ!!!

あ・・・・だ、大丈夫？

さっ

ごめんね・・・・ま、まさか君がこんなに早く射精するとは思わなくて・・・・

君のこと・・・・昔はもっと怖いって印象が強かったから・・・・

私に・・・・ずっと酷いことしてきたのに・・・・

昔・・・・？だって・・・・？

一体何の事だ・・・・?!

ハーッ

ハーッ

覚えてないんだね・・・・

・・・・ひどいなぁ

私のおっぱいで君を
たくさん気持ち良くして・・・・
気持ちよくしすぎて・・・・

君は少しずつ
おかしくなっていくだけ
だから・・・・ね・・・・・

ぐいっ
ぐいっ
ゆっくり

気持ちよくなるわけ
だから・・・・
痛くはないよね・・・・？

いっぱい精子・・・・
射精していいから
ね・・・・♥

ぱふ
つん

ほら・・・・
おっぱいこうやって
こねくり回したら
・・・・

くにゅっ
くにゅっ
あんっ
あっ

あんっ♥あんっ♥て
声出して気持ちよさ
そうだね・・・・♥

あ・・・先っぽから
すごい音してきた・・・・

もしかして
もう限界なのかな・・・・？

ぐにゅっ
ぐにゅっ
ずちゅ
にちゅ

あ・・・・
射精た・・・・♥

ぐぷっ♥
ぐぷっ♥
ぐぷっ♥
ぐぷぷぷっ♥
ぐぷっ
あぁぁぁっ♥

あぁっ!!

ぐぷっ
ぐぷっ

また射精る!!
射精ちゃう
・・・・!!

ぐぷんっ

どくっ
どくっ
いっぱい射精てる♥どくどくって凄い・・・・♥
おっぱいでするだけでこんなに射精るんだね・・・・♥
おぉ～・・・・いやだ・・・・止まんない・・・・っ♥
どくっ
どくっ
ぐぐっ・・・
あっ♥あっ♥引っこ抜かれる・・・・♥
くいっ・・・
おちんちんおっぱいに引っこ抜かれる・・・・っ♥
ぬぷぅ～～～っ
ぬちゃっ
うぅ～～っ♥
すりすりんっ
パチッ
んぐっ♡

うわぁ・・・・

凄い・・・・・こんなにおっぱいに射精したんだ・・・・・♥

挟んでから早かったね・・・・・♥すぐイッちゃった・・・・・♥

もしかして早漏さんなのかな・・・・・？

はぁ・・・♥

はぁ・・・♥

君の印象・・・・だいぶ変わっちゃった・・・・・

くすっ・・・・♥

今だとちょっと可愛く思えてきたかも・・・・♥

どーさっ！

く、くそ!!ぼ、ボクがサキュバスなんかに・・・・!!

好き勝手にされてたまるか・・・・!!

くらえっ!!
ドン
痛…っ
ぼしっ

…!?
な、なんで!?
ボクの攻撃魔法が効いてない…いやそれより魔力が全然ない…!?

気付かなかった？君の精子と一緒に魔力も放出されてるんだよ…？
だから射精のたびに魔力が減っていく…

君は一度の射精量も多いから…
ぐいっ
一回の射精でかなりの魔力が減ってるよ？
そ…そんな…

君は元々魔力が多いから搾り取りがいがあるよ♥

全部・・・・搾り取るつもりだから・・・・覚悟してね・・・・♥

あぁ〜〜〜!!すわれるぅ〜〜〜〜っ!!

ぼ、ボクの魔力が〜〜〜〜っ!?

ちゅるっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ぐいっぽっ

ぽっ

持ってかれる!!コイツ本気で搾りとるつもりだ・・・・っ!!

ぐっ

ぐっ

ぐっ

ぐっ

ぐっ

こ・・・・の!!離れろ・・・・!!

離れろって・・・・!!!

ぐいっ

レロッ

レロォ

いっ
あっ♥あっ♥あ～っ♥
やめろ!!やめて～～っ♥♥
本気で吸い出そうとするな～～っ♥♥
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
じゅるっ
じゅるるっ
吸われるっ♥♥
魔力根こそぎもっていかれる～～っ♥
どくっ
どくっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
じゅるっ
じゅるっ
じゅるっ

しゅ〜〜〜〜♥
ん・・・っ♥♥
ボト♥
ボト
今度は君の天然精液ローションをかけたおっぱいで・・・・
もっといっぱい搾り出してあげるね・・・・♥
ぎゅっ
ぎゅっ
ぎゅっ
んひぃぃ〜〜〜
ぶるぶる
あっ♥や、やめて♥さっきイッたばっかり・・・・♥
あっ♥あっ♥おっぱいに入ってく〜っ♥

あっ……♥勝手に腰が動いちゃってるね……♥

おっぱいに飲み込まれた瞬間おちんちんが気持ちよさだけ求めてずっぽ♥ずっぽ♥って突いてくる……♥

はぁっ♥はぁっ♥いやだ……♥いやなのに♥なんで腰勝手に動くの～～っ♥

ぐっ

ずっぽ

ずっぽ

ずっぽ

ずっぽ

ずっぽ

こうやっておっぱいぎゅ～ってされるの嬉しい……？

もっと好きなだけおっぱい突いて良いからね……♥

パンッ♥パンッ♥パンッ♥て……♥

ずっぽ ずっぽ

ぐっ

あっ♥いやっ♥はっ♥はっ♥

おっぱいの中で伝わってきてるよ……♥

君のおちんちんが精子を出した〜い♥我慢出来な〜い♥って言ってるの……♥

ぶちゅッ

どくっ

射精る♥射精る♥またイッちゃう〜♥♥

びくっ

びくっ

うん……♥イッて♥

あっ♥すごっ……っ♥

ぐぷっ

ぐぷっ

ぐぷっ

ぐっ・・・・♥あぁ・・・・っ♥
止まらない・・・・・っ♥♥
すごい熱い・・・・♥
ぬるぬるっ
ぬぷっ
ぬぷ～っ
ぬるっ

わぁ・・・・2回目なのにすごい射精たね♥
君の精子で私のおっぱいドロッドロ・・・・♥
こ、これで君の魔力どれだけ搾り取れたかな・・・・？
ぬとぬっ
ぬとぬっ

腰が抜けてしまうかと思う程の射精をしたボクは・・・・
ふらっ・・・
限界を迎えてそのまま気を失った・・・・

気を失ったボクは
またさっきと同じ
過去の記憶を見ていた

後味の悪い
ボクの記憶・・・・

あはは!!なんだ!!
魔物なんて大した
ことないんだ!!

ボクの魔法で
お前なんて
やっつけてやる!!

やめて・・・・
やめてよぉ・・・・

ひどい・・・・
ひどいよぉ・・・・

記憶の中の
泣いてる子は
まだぼやけてて
映っていた・・・・

「魔物」って
言っていたな・・・・
あの魔物の子は
誰なんだろう・・・・?

うぅ・・・・うっ・・・・

あ・・・・気がついたね・・・・

はっ・・・

はっ・・・

うん・・・・やっぱり一度に射精しすぎちゃったみたいだね・・・・

大丈夫？

ぱんっ♡

!?

えっ!?な、何っ!?

2人になって・・・・!?

えっ!?えっ!?何で・・・・っ!?

び、びっくりさせちゃったね・・・・

急に私が増えてるんだもん・・・・

これは君の魔力のおかげなんだよ・・・・

もう一人の自分を作り出す技なんだけど・・・・

大量の魔力を消費するから中々できない技なんだ・・・・

でも君の魔力を吸ってようやくできるようになったんだよ♥

や、やっぱり君の魔力は凄いね・・・・量も質も・・・・想像以上・・・・♥

名家の出身だっけ？自慢するだけのことはあるよ・・・・

これだけ力があるからいたずらに使いたくなるんだ・・・・♥悪い子・・・・♥

でも今は君の魔力・・・・もっとほしい♥

今度は2人の私でいっぱい気持ちよくするから・・・・♥

おちんちん気持ちよくなって精子も魔力もびゅっ♥びゅ～っ♥てしちゃおう・・・・♥

ほら・・・・こうして私たちのおっきいおっぱいに同時に挟まれて・・・・

もう何も考えられないくらいぴゅ～ってしよ？

大丈夫・・・君は気持ちいい事だけを考えて・・・・？

ぎゅ

むっ・・・・♡

ほら・・・・2人のおっぱいに挟まれちゃう・・・・♥ぎゅ～ってされちゃう・・・・♥

むにゅっ

むにゅっ♡

むにゅっ♡

むにゅっ

こ、怖がらないで・・・・♥痛くはしないから・・・・♥

ほら・・・・楽にして受け入れるだけでいいからね・・・・？

わ・・・・♥すごい・・・・腰が浮いちゃってる・・・・♥

ずちゅずちゅ

ぴゅ～

ぴゅっ

強すぎる・・・・？ごめんね・・・・？

でもこれくらいしないと君から根こそぎ搾り取れないから・・・・♥

ぱちゅぱちゅ

ぱちゅぱちゅ

ず・・・・ずるい!!2人でギューッてするの・・・・!!ずるい・・・・!!

イキそうだったらすぐにびゅ〜って射精してもいいからね……♥
あ……びくびくって凄い……♥でももう少し我慢して……♥
うっくっ♥いやだ〜いやだ〜
ずりゅっずりゅっ
だぱっ
だぱっ
だぱっだぱっ
だぱっだぱっ
ずりゅ
ずりゅ
ムリムリ!!がまんできない〜〜♥
その代わり分裂した分いつもの2倍は射精してほしいな……♥
いっぱい我慢した濃い精液と魔力がほしいからがまん♥がまん♥

イクッ♥イク～～～～ッ♥♥
あ・・・・♥凄い射精てる・・・・♥
もう少し我慢してほしかったんだけどな・・・・
やっぱり早漏さんなのかな・・・・？
ぶるっ
ぶるっ
ぶるっ
んっ♥どぷどぷって勢い止まらないね♥
どくっ
どくっどくっ
おっぱいの間君の精液で泉みたいになってる・・・・♥
ダメだ!!ダメダメダメ!!この調子で搾り取られたら・・・・
ボクの魔力ホントに無くなっちゃう!!
はっ
はっ
お・・・・お前達・・・・や、やめろ・・・・!!
すいっ
えっ!?

んくっ!!

ご、ごめん何か言った？よく聞えなくて・・・・

今の一回じゃ全然足りないからもう一回搾り取るね・・・・？

んっ♥もごもご何か言ってるけど全然わからないよ・・・・

何か言いたいことあるならもっとはっきり言ってほしいな・・・・

なんだかさっきよりぴくぴく反応してる・・・・

顔におっきいお尻が乗っかって興奮しちゃった・・・・？

亀さん・・・・ぴくぴくってなってカワイイね・・・・♥

もっと気持ちよくしてあげないと・・・・♥

ん・・・・っ♥
ちゅっ
ちゅっ
しロォ
しロォ
ちゅっ
ちゅっ
んむっ

わ・・・・もう一人の私が君のおちんちん食べちゃってるこれってすごくエッチだね・・・・♥
ちゅっ
しロォ
しロォ
りゅっ
りゅる
ちゅるっ
りゅる
これってパイズリフェラ・・・・？になるのかな・・・・？
腰もさっきよりガクガクって動いて凄い反応・・・・

しロォ
んっ♥んむっ♥気持ちいいのはわかるけど・・・・♥
ちゅっ
しロォ
ちゅっ
もう少し我慢しようね・・・・♥

あっ♥またびくびくってしてきた・・・・♥
ちゅるっ
ちゅるっ
ちゅるっ
もうムリ？ムリそう？イク？イッちゃう？イキそう？

びくっ
びゅるっ
ぢゅぷっ
ぢゅぷっ
びくっ
きゅぅっ♥
きゅぅっ♥
わぁ・・・・
また射精たね・・・・♥
やっぱり凄い量だよ・・・・♥
でももう少し我慢してくれると嬉しいんだけどな・・・・
ん・・・・っ♥
喉に絡みつくくらいすっごく濃い・・・・っ♥
ふぅっ♥
ふぅっ♥
2人に増えたことによりさらに強烈な搾精にボクは耐えられなかった・・・・
薄れゆく意識の中再びボクは過去のことを思い出していた・・・・

また同じ過去の記憶だった・・・・

だけど今までより映像が鮮明になっていた・・・・

ぼやけていた景色もはっきりと映し出されて

目の前で泣いている子の顔もくっきり見えるようになる

そうだ・・・・思い出した・・・・

うっ・・・・

うっうっ

昔ボクがいじめてた魔物の子は・・・・

今まさに僕を搾精しているサキュバス・・・・

その幼い時の姿だった・・・・

思い出した・・・!!
お前はあの時の
魔物だったのか・・・・!!

ま、まさか
サキュバスだった
なんて・・・・!!

だからボクだけを
連れ去ったのか
・・・・!!

ボクに復讐
するため・・・・!!

やっと思い出して
くれたんだね・・・・
そうだよ・・・・

私の名前は「ミルフィ」
昔君にいじめられてた
サキュバスだよ・・・・

あの時はまだ力が覚醒
してなかったから
君から見たら弱い魔物
だったかもね・・・・

成長してサキュバスに覚醒
してからはたくさんの男の人から
精子と魔力を奪ったから・・・・

今は君なんかよりも
高い魔力を身に着けている
んだよ・・・・♥

昔は怖い存在だと
思っていたけど・・・・
今だと全然だね・・・・

すぐに射精しちゃう
ところが・・・・ちょっと
可愛く思えてきた

きゅ

でもね・・・・これは
復讐じゃないんだよ?
君の魔力はずっと
ず~っと狙って
たんだ・・・・

だから絶対私のモノに
するって思ってたから
・・・・

むしろ恋焦がれてた
くらいなんだよ・・・・♥

ミルフィはそう独白するとボクにさらなる追い打ちをかけてきた

どう？気持ちいい？これ・・・・？

魔力の放出のしすぎで抵抗する力もボクは既に失っていた

上も下もおっぱいで気持ちよくさせられてるね

うんうん♥いっぱいびゅ～ってまたしようね・・・・♥

彼女はボクの尊厳を無視してひたすらに精液と魔力を搾り取る

あっつい……♥
私の乳首でもたくさん感じて……♥
んっ♥あっ♥これ気持ちいいね……♥
地獄のような快楽を与え続けられた

じゅるっ♥じゅるるっ♥
れろっぉ♥れろっぉ♥
ちゅっ♥
ちゅっ♥
んっ♥
んっ♥
びくっ♥
びくっ♥
ん・・・・♥
またガチガチに
なった・・・・♥
バン♥バン♥
バン♥バン♥
もっと・・・・
奥まで届くくらい
打ちつけなきゃ♥
はっ♥
はっ♥
私が手伝って
あげるからね
くっ♥
ぱちゅ
ぱちゅ
ぱちゅ
ぱちゅ
休む暇もなく
すぐに搾精
行為が行われる
イクッ♥
またイクッ♥
どくどくっ♥
びゅくっ♥
びゅくっ♥
びゅくっ♥
ボクの身体は
2人のいいように
扱われた

射精したら
パイズリ
射精したら
パイズリ・・・・

すごい音・・・・
エッチだね・・・・・♥

おっぱい
で息できない
・・・・?

それとも
もっとこう
されたいかな?

はーい・・・・
また射精
しようね〜
・・・・♥

あっ♥
もう射精し
そうだね♥

自分でも
もう何度
射精したか
わからない

そうそう
頑張って
腰振って
・・・・♥

おっぱいと
いっぱい
エッチして♥

がんばれ〜
・・・・♥
がんばれ♥

ただ言えることは
ボクの自慢の魔力は
底をつき始めている
のは感覚でわかった

んっ♥おっぱい美味しい・・・・？
だけど、もうボクは後戻り出来ないほどの快楽を強制されてしまっていた・・・・
んっ♥
激し・・・・っ♥
ちゅっ♥
ちゅっ♥
ちゅっ♥
ちゅっ♥
ちゅっ♥
ちゅっ♥
ぱすっ♥
ぱすっ♥
ぱすっ♥
ぱすっ♥
じゅるっ♥
じゅるっ♥
ゆっ♥

きりゅ〜

〜ぃぃっ♡

今日もいっぱい射精したね……♡

魔力の方はかなり薄くなってる気がするけど……

精液の方はこれからもいっぱい射精るよね……？

君の精液はこれからも沢山搾り取ってあげるから……ね？

ぴゅっ

ぴゅっ

ぴゅっ

ボクはもう助からないそう感じた……これからも彼女に精液を供給するだけの存在として永遠に飼われるのだ

はーっ

はーっ

ははは……

これは因果応報なのかもしれない……調子に乗っていたずらに魔力を使ったボクに対する罰なのかもしれない……

その後
魔王軍が世界を
どうしたのかは
ボクにはもはや
わからなかった

ミルフィ

身長　187cm
B/W/H　110(L) 62 98

魔王軍所属のサキュバス。
大人しそうな表情とは裏腹に、数多くの男の精気と魔力を奪ってきたため
凄まじい魔力を秘めている。
パイズリによる搾精を得意とし、彼女のパイズリの餌食になった者は数知れず。
しかし、実は自分から人間を襲う事はなく、相手に敵意があった場合のみ
反撃する。
幼いころは魔力がなかったため主人公からいじめにあっていた過去を持つ。
以来、主人公の魔力を渇望するようになり主人公が勇者パーティーに入り
魔王軍と対峙する事を待っていた。